

山岳友の会会報

2019年7月 第34号



も く じ

第42回現地研修会（雨飾山・小谷温泉）

報告 小林 久雄……………2

第43回現地研修会（早池峰山）

報告1 横田 耕太郎……………2

上高地ステーション作業

報告 小林 久雄……………4

第42回現地研修会（雨飾山・小谷温泉）報告

小林 久雄

春の晴天に恵まれ10名の参加で、「小谷温泉と山菜を知る」雨飾登山と温泉も楽しむ第42回現地研修会が実施されました。

登山参加体調調整などで8名となりスタート。残雪の河原に水芭蕉が咲く登山口をブナ林の新緑の雪原をひと登りし、荒菅沢にいったん下る。



急な雪の斜面を夏道沿いに登り、笹平に出ると糸魚川の街並みと日本海が見える。

最後の急登を山頂へ、12時20分に4名が登頂しました。北アルプスや越後の山の大パノラマに汗を拭い、昼食後に慎重に下山。

古い佇まいの山田旅館は藤原さんの紹介、温泉を満喫し夕食は山菜尽くしで美味しくいただきました。

宿の主人からフドブキやウド・コゴミにイラクサなど説明いただき堪能しました。

また、参加出来なかった日向さんからお酒などもいただき、『登山・温泉・山菜』楽しみました。

夏を思わず晴天の大満足の研修会でした。

翌朝には近くの鎌池湖畔も散策し、田淵行男記念館も訪れました。

深田久弥が志げ子と泊まった温泉宿山田旅館は趣のある素敵な温泉でした。



第43回現地研修会（早池峰山）報告

横田 耕太郎

6月20日～22日。今回の目的地は北上山地の最高峰、花の百名山・早池峰山。高速道路を乗り継ぎ600km以上のバス旅は『酔い』研修会となりました。行きと帰り、『訪問した印』を残した場所は何ヶ所でしょうか？（もちろん運転手さんの休憩も兼ねてますよ）



松本を出て約9時間後、初日の移動でまず訪れたのは宮沢賢治ゆかりの地「イーハトーブ・花巻」。宮沢賢治記念館を見学しました。イーハトーブは自分の住んでいるご近所、絵本美術館&コテージ『森のおうち』でもお馴染みの世界ですが、現地を訪れてその世界に浸る事は感慨深いものがありました。

約1時間の見学後、今夜の宿『花巻温泉・ホテル花巻』へ。三つのお風呂がある大きなホテルだ。夕食まで1時間もない。翌朝、登山の前に風呂巡りも疲れる、という事で頑張って三つを巡ったのだが、建物が別々なのでいちいち浴衣を羽織らなくてはいけないので、最後は浸かるだけになったものの、皆さんが入る前の下見にはなかったのではないのでしょうか？ホテルで岡山から来た大江さんと合流。旅慣れているとはいえ、ご高齢で歩かれるそのバイタリティにいつも感心します。



早池峰山

2日目は8時ホテル出発。それまでの時間、風呂に入る人、近所を散策する人様々です。近くではバラ祭りが開催されていました。出発してすぐバスは停車。どうやらパンを買うようです。女性陣は良くチェックしてますね。山口会長から『花巻温泉あんぱん』を全員にいただきました。粒あんがぎっしり詰まった花巻温泉名物のあんぱん。

会長の気配りに胸も腹も膨らませ、バスは一路早池峰山へ。シャトルバスの乗り換えなしに小田越登山口に9時半頃到着。集合写真を撮ると、準備運動もそこそこに出発していく、せっかちグループ。でも、雨予想に反して雲が切れ見える頂上に、はやる気持ちを抑えられないのはわからないでもないですね。



さて、今回の現地研修会には中嶋豊さんが参加されました。信州の山の登山道をわかりやすいイラストで紹介している中嶋さん。この早池峰山をどのように描かれるのでしょうか？手帳を片手に歩かれる中嶋さんとはしばらく歩いてみました。メモ書きとは言え、的確にポイントを押さえて書かれており、さらに後日 FB で紹介されていた下書きの一部を見て「流石だなあ」と勉強になりました。そして書くものが少なくなった岩場に来てからの速い事。小生は花を撮りながらゆっくり登りました。



蛇紋岩

岩だらけの山、かんらん岩や蛇紋岩といった特殊な岩石によって緯度が信州より高いとはいえ、2000m に満たない標高の山にも関わらず、高山植物の群落が発達し、ハヤチネウスユキソウのような、固有種が育つ早池峰山。実は訪れるまで「天気予報は良くないし、まだ季節的に早いかなあ。せめて降らないで欲しい」と諦めていたのですが、暑すぎない空模様に素晴らしいお花の群落を楽しむ事が出来ました。

登り始めて間もなく見られるミツバオウレン。やがてミヤマシオガマやミヤマハンショウヅルそしてミヤマキンバイの群落。お目当てのハヤチネウスユキソウはまだあまり咲いていませんでしたが、いくらか花開いているものもありました。



登り始めて間もなく見られるミツバオウレン。やがてミヤマシオガマやミヤマハンショウヅルそしてミヤマキンバイの群落。お目当てのハヤチネウスユキソウはまだあまり咲いていませんでしたが、いくらか花開いているものもありました。

頂上に順次到着した人からお昼にします。風がやや強いので岩陰を探します。食べ終わったら、いる人だけで集合写真、そして下山を・・・おや！すぐそこまで次のグループが登ってきましたよ。再度集合写真、さて下山・・・最後に登ってくる大江さんとなべさんが見えます。あと5分位・・・大江さんは登ってきましたが、待てど暮らせどなべさん来ない。どうやら残



雪でビールを冷やしていたそうです。ようやく”ほぼ”全員で記念写真。ようやく出発できますが、すっかり体が冷えてしまっていて大きい方もしたくなった自分は、花の写真もそこそこにすっ飛んで下山したのです。

後で聞いたところ、大江さんは体調不良で、ずっとなべさんが付き添って登ってきたんだそうです。『なべさん優しいナァ』・・・女



性にだけかもしれませんが。

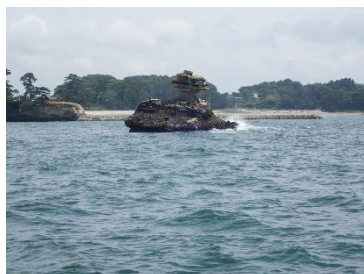
一仕事終わった後のビールはうまい。道の駅はやちねでお買い物、旅を続ける大江さんを花巻温泉駅で下した後、バスは今夜の宿、松島ホテル壮観へと向かいます。

不安定な空模様、登山は雨に降られず無事終わりましたが、明日の天気が気になります。日本三景の松島を訪れるのは初めてなので雨は勘弁です。

行程が予定より遅れているので、夕食の時間は予定より30分遅くなりました。

ホテル到着後、夕食までの時間はさほどありませんが、汗は流したいです。慌ただしく夕食会場へ。

今夜の主演はなべさん。今日は誕生日だそうで、みんなでお祝いする事にしていたのです。始まるまですったもんだありましたが、♪Happy birthday to you♪をみんなで歌って宴会はスタートしました。



最終日の朝、朝起きると外は予報通り雨が降ったりやんだりの空模様。半ばあきらめ温泉に入ったりしながら、出発の刻を待っていました。すると8時半の出発の頃には雨もやみ、陽射しがでてきました。そして、心地よい風を感じながら、約1時間の遊覧船・第三仁王丸による島巡りの後、国宝 瑞巖寺は入口だけ覗いてお土産を買ってバスに戻ったのでした。

後は松本へ向かって高速道路を一直線。帰りもトイレ休憩は欠かせません。不安定な空模様は続きます。時々強い降りの事もありました。でも、不思議と休憩、そして松本帰着まで一度も雨に遭いませんでした。

お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

上高地ステーション作業報告『どぶさらいました。』

小林 久雄

新緑が雨に美しい季節です。

友の会の有志 4 人で上高地ステーション(明神の養魚池)どぶさらいを5月29日にしました。

降り出した雨を気遣いながらも大降りになる前に何とか一輪車25杯の泥を池より搬出。

枯れ枝やゴミも片づけて綺麗な池にしました。

お魚たちも少しは安心して楽しい日々を過ごせそうです。

昨年秋に予定したかったのですが.....何とか「子どもキャンプ」に間に合いそうです。

参加したのは 荻野さん 田下さん 滝沢さんと私。仕事帰りに途中で竹原副会長が激励に。お掃除後の BBQ の野菜のカットなど応援いただきました。

4時には雨も本降りになってしまいましたが.....囲炉裏部屋で反省会も愉しく出来ました。

